

## 三太郎線周辺における第2回ナイトツアー実証実験計画

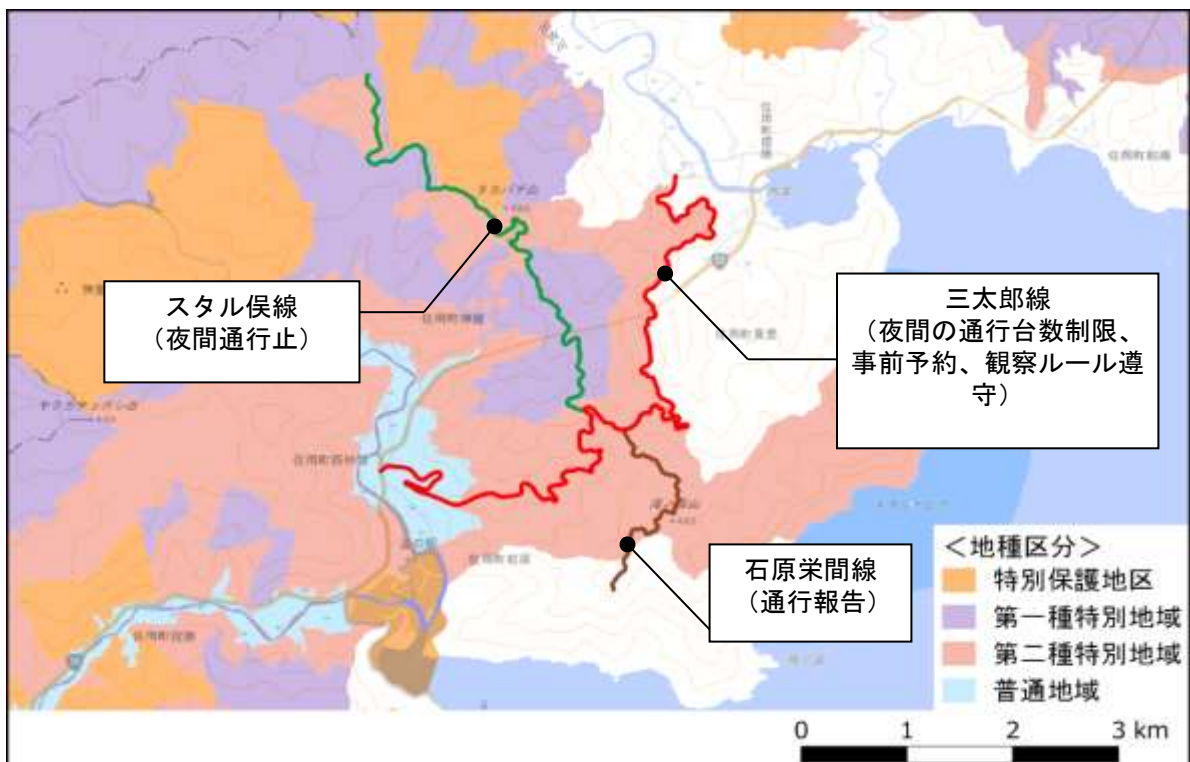
### 1. 実証実験の概要

実証実験では、住民、ガイド、観光客など全ての利用者を対象として、以下のとおり試行する。なお、実証実験の利用規制については法的強制力がなく、あくまで協力を依頼するかたちで実施する。

#### 【実験内容】

自然環境への悪影響を低減し、質の高い利用体験の提供・安全確保を図るため、以下の利用規制等を試行する。

- 世界遺産の緩衝地帯を通過する三太郎線は、WEBでの事前予約による夜間の通行台数の制限を行う。
- 世界遺産の推薦地を通過するスタル俣線は、夜間通行止めとする。
- 車両の走行速度やライトの使用法など、夜間の野生動物観察のルールを設定する。
- 夜間野生動物観察に不慣れな方はガイドの同行（有料）を推奨する。



### 2. 実験時期

- ・令和3年4月29日（木）～5月9日（日）（各日19時～翌6時）

※ 5月の大型連休を中心とした連続 11 日間

### 3. 実験方法

＜対象路線＞ 市道三太郎線

#### ①予約について

- ・三太郎線の利用については、事前に WEB 上の予約システムで各自予約をおこなう。WEB が使えない方向けに、住用三太郎の里及び奄美野生生物保護センターにて現地端末を用いた予約ができるようサポートする。
- ・予約状況は定期的に事務局が監視する。
- ・利用者種別による枠数の設定は行わないが、予約時にガイド、島内利用者、島外利用者の種別を入力し状況を把握する。

- 予約は、WEB 上の予約システムに各自で登録する。
- 仮押さえをしないこと、キャンセルは確実におこなうことを徹底してもらう。
- 予約をおこなうとメールが予約者に届き、予約日時やルールがわかる。

#### ②台数制限について

三太郎線の通行台数、利用時間、通行方向等に関して、以下のルールを試行する。

- 1 時間あたりの利用台数を 4 台までとし、夕方から明け方まで（19 時～翌 6 時）適用する。
- 三太郎線の走行方向は両方向とするが、入れるのは 30 分間隔で各方向 1 台ずつとする。

- ・予約時間は三太郎線の東仲間・西仲間入口の出発時間とし、毎時 00 分、30 分を目途に各入口 1 台（＝30 分ごとに合計 2 台）の予約を受け付ける。予約時間に大きく遅れた利用者に対しては、利用の自粛をお願いする。U ターンは原則しない。
- ・利用状況については監視カメラ等で把握をおこなう。

#### ③ 夜間の野生動物観察ルールの設定

- ・実証実験時は、以下の観察ルール（試行版）の遵守を依頼する。
- ・事前予約時に周知を図る。

##### 【夜間の野生動物観察ルール】

- 時速 10km 以下で走行する。
  - ・野生動物の交通事故防止のため、極力スピードを控えて走行する。アマミノクロウサギだけではなく小型の両生類、爬虫類、甲殻類などにも気をつけて走行する。
- 前の車に追いついたら一旦待機し、無理に追い抜かない。
  - ・追いついたら合図ができるまで後ろで待機し、前の車両が左ウインカー出したら追い越す。
- 十分観察できた場合は後続の車に先頭をゆずる。
  - ・前の車は観察が終わり次第左ウインカーを出し、追い越してもらう。
  - ・皆が楽しめるよう、ゆずりあって利用する。
- 動物から離れて、静かに観察する。
  - ・生き物を探すライトは車につき 1 本とする。

- ・手持ちライトで逃げていく生き物をしつこく追わない。
- ・大声を出さない。
- ・動物には触らない。
- ・動物に餌を与えない。
- ・車のドアを勢いよく閉めない。
- カエルやイモリ、オタマジャクシ等の生活の場である水たまりはなるべく車で踏まない。
- 対向車が来たときや前の車に追いついたときハイビームはやめる。
- ペットを連れていかない。

#### <対象路線>

市道スタル俣線

#### <実施方法>

##### ① 通行自粛のお願い

- ・路線の起終点等において、看板を設置し、夜間のみ車両通行止めとする。

#### <対象路線>

市道石原栄間線

#### <実施方法>

##### ① 通行報告のお願い

- ・路線の起終点等において看板を設置し、悪路であることの注意喚起をおこなう。どうしても通行したい場合は、不審者の有無、昆虫トラップの有無、その他異常がなかったかを通行後翌日までに事務局に報告する。

報告先：環境省奄美群島国立公園管理事務所 RO-AMAMI@env. go. jp

## 5. 効果検証・モニタリング

- ・利用規制の妥当性や運用方法等について検証するため、以下の効果検証・モニタリングを実施する。

| 実験項目              | 検証項目                                                 | 検証方法                                                                                                          |
|-------------------|------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 全体                | ①利用者（一般利用者、ガイド、住民、以下同じ）の動態（利用分散など）<br>②ナイトツアーとしての満足度 | ①参加していない住民、ガイドへのアンケート調査<br>他林道に設置されている自動撮影カメラの自動車撮影数等から把握<br>②実施後の聞き取り調査・アンケート調査（参加者（一般利用者、ガイド、住民、以下同じ）による評価） |
| 三太郎線の台数制限・通行方向の設定 | ①交通トラブルの有無<br>②実施上の課題把握                              | ①②実施後のアンケート調査（参加者による評価）                                                                                       |
| 事前予約              | ①予約方法（周知方法含む）の課題把握<br>②実施上の課題把握                      | ①②実施後のアンケート調査（参加者による評価）                                                                                       |
| スタル俣線の通           | ①参加者の利用状況                                            | ①実施後のアンケート調査（参加者による評価）                                                                                        |

|              |                                     |                                                                                      |
|--------------|-------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------|
| 行止め          |                                     | 車両カウンターデータから把握                                                                       |
| 観察ルール        | ①観察ルールの内容の評価<br>②観察ルールの順守状況         | ①実施後のアンケート調査（参加者による評価）<br>②実施後のアンケート調査（参加者による評価）<br>車両カウンターによる速度データ                  |
| 野生動物等のモニタリング | ①アマミノクロウサギの出現状況<br>②アマミノクロウサギ等の観察頭数 | ①実施後のアンケート調査（参加者による評価）<br>アマミノクロウサギ糞塊調査、自動撮影カメラ調査（実験前後で実施）<br>②実施後のアンケート調査（参加者による評価） |